

鹿ノ台川柳教室

十月十七日(月)

息運記)

八木 哲子選

酸素まで買って吸わされ生かされる 義雄

魂の呼吸はゆっくりに限る 正清

今日だけの素敵な秋を深呼吸 広子

磯笛は働き者の母の歌 ミノル

絶妙なため息をつく山の神 英二

息あがり降参したい鬼ごっこ えいじ

学校は息抜きにして塾へ行く よう子

息をのむ気が付きや予算が七倍だ よし尚

息はずみひとみかがやく一等賞 登美

信じ合う夫婦の道は息長い 宏樹

改憲ダンマリ鼻息荒くても 千楽

金か銀ラストチャンスに息を呑む 乃り子

マツタケにため息ついて香りだけ アキラ

追及に息吹きかけて眼鏡拭く 勝利

軸息止めて秋の大きに酔ってみる 哲子

自由吟（兵選）

林勝利選

仰向けの亀に求める自助努力

義雄

愛ちゃんは金より重い手にダイヤ

乃り子

風に乗る勝てば官軍まつりごと

よし尚

予算超豊州五輪は藪の中

哲子

日替わりはファッションだけよ百合子知事

千楽

木曾駒の秋音立てて胸を打つ

広子

爪痕の消えぬ地球に花も咲く

よう子

ハルキストにわか仕込みのギター弾く

英二

横になりこれは極楽天国か

えいじ

目を閉じて山の息吹に包まれる

広子

極限を知って自由の旅にたつ

正清

いざ行かん呆けずに生きて墓場まで

宏樹

愛という罂で心のしわのばす

よう子

恣経験は時時胡散臭くなる

正清

軸かるやかに脱げど見せない腹の内

勝利

自由吟（共選）

橘 正清選

風にのる勝てば官軍まつりごと

よし尚

医師はパソコン患者が医師を診る時代

義雄

かるやかに脱げど見せない腹の内

勝利

予算超豊州五輪は藪の中

哲子

木曾駒の秋音立てて胸を打つ

広子

懐を探られている松竹梅

アキラ

腰のばし見上げてみよういわし雲

えいじ

目を閉じて山の息吹に包まれる

広子

同期会冬眠中の胸さわぐ

哲子

菜が泣いて茸よろこぶ秋ついで

登美

仰向けの亀に求める自助努力

義雄

ハルキストにわか仕込みのギター弾く

英二

釈明に滲み出てますひととなり

アキラ

過去という時の溜まり場罪と罰

勝利

委爪痕の消えぬ地球に花も咲く

よう子

軸経験は時時胡散臭くなる

正清

抜ける (互選)

② 目から鼻抜けてござかしおませな子

登美

暗闇を抜けたらきつと青い空

広子

雨風が吹きぬく道に日本国

宏樹

③ あの子は抜け道捜す人でした

哲子

上司の子抜くか抜けない位置キープ

乃り子

骨抜きにされて塩漬け生き仏

正清

④ 落第生いまやビジネス優等生

千楽

抜群の支持で選んだ茨道

勝利

皆勝手五輪予算の底抜けた

よし尚

朝起きて枕カバーをまずチェック

英二

⑤ 嘘ひとつ見抜いてからの荒れ模様

よう子

⑥ 未だ抜けぬ会社気分で妻に指示

アキラ

思い出は前歯抜けてる頃が好い

えいじ

抜け道をいつもこさえて生きてます

広子

⑧ 難関を切り抜け嵌る落とし穴

よう子

人を抜き人に抜かれる世に疲れ

義雄

⑫ 抜きん出る才に溺れて墓穴掘る

勝利

*互選の部、勝利さんが12点と他を離して堂々トップ。
同じく互選で点は入らなかった句。

「二次会になると決まって二人減り」 二人減り、と
いうのはカップルを指すのかも。違った表現なら面白か
った、の声あり。ちよつとした手直しで作品がガラリ変
わるものですね。(千)*

今回は十一月二十一日午後一時から、西集会所で。
お題は「太鼓」と「こつそり」、それに自由吟。各2句。

「太鼓」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟(選者
2人の共選)は2部を提出。

問合せ 五十嵐 修 79・0751、

原広子 79・0061)